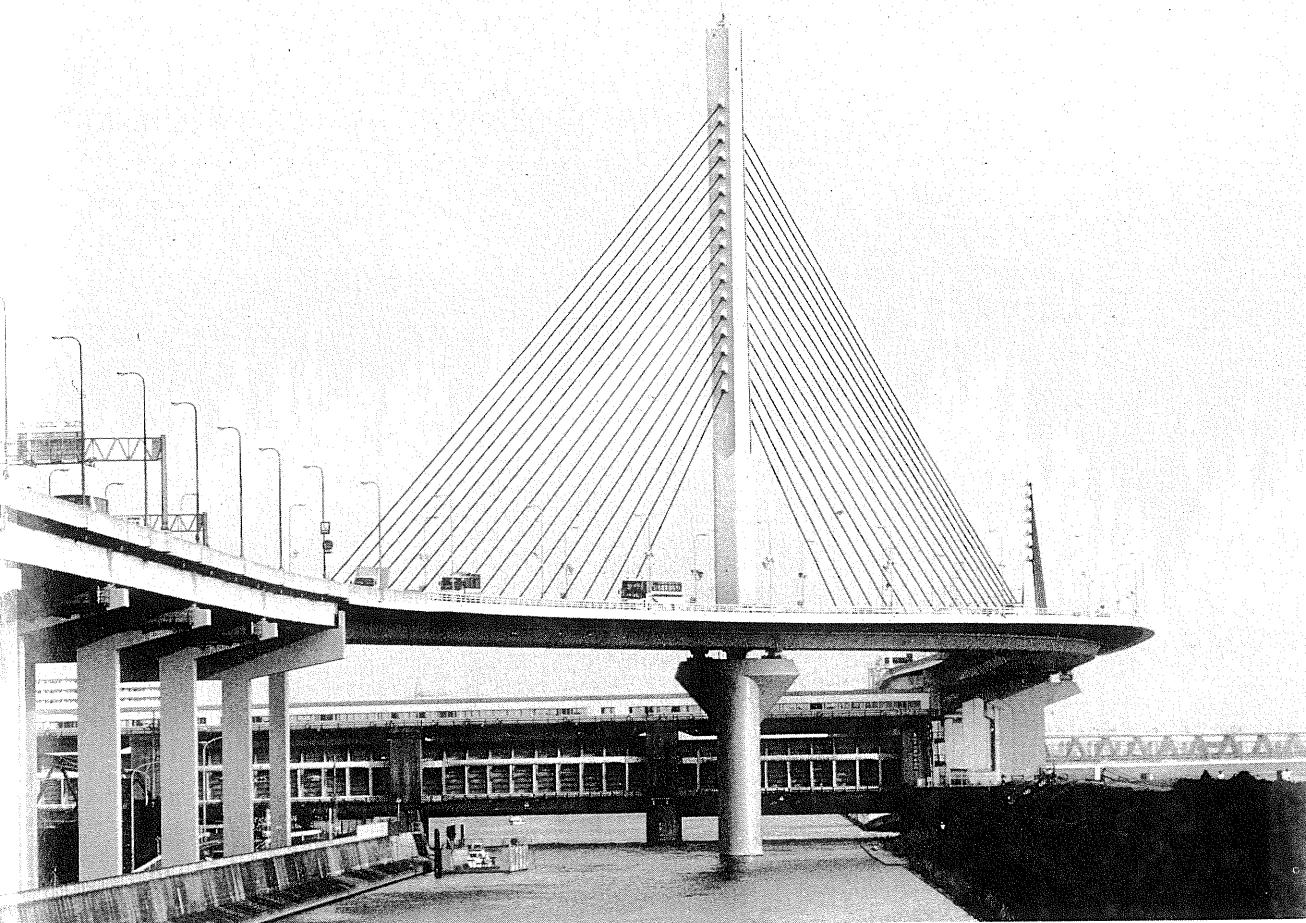


発団30周年記念誌



日本ボーイスカウト東京連盟

葛飾第2団

東平用

1845

1845 1846 1847 1848 1849

昭和36年1月6日

東京オ186回々委員長

モーリスカウト日本連盟
事務局長

モーリスカウト日本連盟

東京 第 186 回

モーリスカウト日本連盟

モーリスカウト日本連盟

總一

三島通陽

目 次

葛飾第2団 団歴	2	
30周年にあたり	育成会会長 川島一伸	3
発団30周年を迎えて感謝で一杯	団委員長 佐野英雄	4
発団30周年を祝って	東京都議会議員（葛飾第2団顧問）出口晴三	5
お祝いのことば	総武地区協議会会長 川野 仁	6
次代に向って限りなき前進を	東京連盟理事・総武地区委員長 室岡 登	7
思い出の30年		8
思い出の30年	発団20周年記念式典	17
楽しかった30周年記念キャンプ	カブスカウト 若林 瞳	23
	鈴木英樹	23
	畠 俊孝	24
	菅野芳樹	24
30周年記念キャンプ	群馬県鬼石にて	25
発団30周年を迎えて	30周年記念行事実行委員長 早川 功	27
30周年を迎えて	副団委員長 入江生夫	28
ビーべー隊 5周年を迎えて	ビーべー隊隊長 遠藤弥栄子	29
発団30周年に当って	カブスカウト隊隊長 鯉渕武治	29
発団30周年を迎えて	ボーイスカウト隊隊長 工藤弥一	30
発団30周年を迎えて	シニアースカウト隊隊長 東平 進	31
ボーイ隊長の頃	シニアースカウト隊副長 加藤 浩	32
葛飾第2団歴代育成会会長		33
葛飾第2団歴代団委員長		33
葛飾第2団歴代隊長名簿		34
スカウト進歩歴抜萃		35
発団30周年在籍団名簿		37
編集後記		44

葛飾第2団 団歴

- ◆初年度登録 昭和36年12月5日
- ◆ 東京第186団 少年隊発足（ボーイスカウト隊）

育成会会長 石毛慶次郎
団委員長 三森定雄
少年隊隊長 深沢利雄
団委員 9名 指導者 4名 スカウト 27名

昭和37年4月1日

年少隊（カブスカウト）発足
隊長 福地集 スカウト 29名

昭和42年4月1日

年長隊（シニアースカウト隊）発足
隊長 大友静雄 スカウト 10名

昭和61年4月1日

ビーバー隊 発足
隊長 入江生夫 スカウト 4名

- ◆東京第186団より葛飾第2団に変更 昭和53年4月1日

- ◆平成2年4月1日現在

登録承認番号

葛飾第2団 登録第1845号

所 属 隊	ビーバースカウト隊	登録第 262号
	カブスカウト隊	登録第 535号
	ボーイスカウト隊	登録第 3344号
	シニアースカウト隊	登録第 932号



30周年にあたり

育成会々長 川 島 一 伸

このたび、葛飾第2団は発団30周年を迎えることができました。誠に慶賀にたえません。

地域の青少年の健全なる育成のために、種々のスカウト活動の実践に努められた当団の多くの先輩達を誇りにしております。

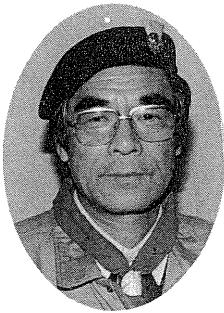
私達の歴史は、育成会員と团委員相互の信頼や目的を一つに実践に当った、ひとり、ひとりが積み上げた30年だと思います。

昭和63年には、富士スカウトの誕生を実現させましたが、まさに地道なスカウト運動の実績が、今日の葛飾第2団の高い評価につながったものと確信いたしております。

十年一昔といわれますが、昨今は三年一昔などといわれるほどの激しく流れる時代背景があります。

コンピューターに象徴されます機械万能主義や物質主義の風潮の中で、豊かな人間性を育てるのは困難な時代のようですが、このような時こそ、地域に根ざしたスカウト運動の実行が一層注目されるのではないでしょか。30年の歴史はまだ若く、未熟ですが、これまでの実績を生かした新しい活動により、目的達成のための努力を続けなければならないと思っております。

発団以来、ご指導・ご支援をいただきました友団はじめ、関係各位の皆様に心から感謝申し上げますと共に、更に50年へと発展してゆく葛飾第2団のために、御力添えを賜わりたく、ごあいさつ申し上げる次第でございます。



発団30周年を迎えて感謝で一杯!!

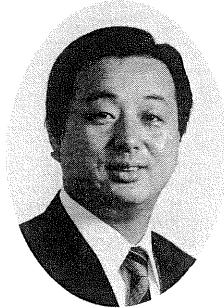
ボーイスカウト 葛飾 2団

団委員長 佐野英雄

発団以来今日まで一口に30年と申しますが、本当に振りかえってみる時、永い永い道のりであります。この間、素晴らしい先輩育成会長、団委員長等、その時々の方々としっかりスクラムを組み、苦労と奉仕で乗り切って下さった数えきれない程の人々によって、今日の30年と云う素晴らしい当団の歴史を築いてくれました。有難うございます。いつも全力で当団をささえてくれた方々とその時その時代の友団の方々に対し、団を代表し改めて心より厚く御礼申し上げると共に、今後共地域青少年育成の為に一層の御協力御鞭撻賜ります様お願ひ致しますの言葉で一杯です。

初心忘れずの諺がある通り

この30周年を機会に発団当時の先輩達の苦労と功績を感謝し、21世紀にふさわしい若さにあふれた団として次の世代に渡さなければなりません。どうぞひきつづきボーイスカウト運動への深い御理解と御協力を願い致し、この行事にあたり、育成会長始め育成会の多勢の方々の陰のご援助、お父さんお母さんの沢山の参加と協力、リーダー諸君の綿密な計画と準備に対し団委員長として心から 有難う!! ご苦労様!! と御礼申し上げ、限られた文字の中精一杯の感謝と御礼にかえさせていただきます。お目出度う30周年!! そして有難う!! でペンを置きます。



発団30周年を祝って

葛飾第2団顧問

東京都議会議員 出口晴三

発団30周年まことにおめでとうございます。故入江庄一先生のご縁で葛飾オ2団の皆さまと知り合う機会を頂いてからもう何年かがたちました。団員の皆さまのきびきびした態度、そしてご父母を初めご協力を賜わる多勢の皆様のご好意の中でスカウト諸君がすくすくと育っている姿をたのもしく拝見してまいりました。私は、現代の日本の社会の中で最も忘れ去られ、又最も口では良く云われますが、実際は報われることの少なすぎるのは『人の善意、奉仕活動』であろうと思います。世の中の人々の対応もさる事ながら、行政の中で、政治の仕組の中でこの事が欠けているのではないかとつくづく思います。去年10月サンフランシスコ地震が発生した時、東京都では早速調査団を派遣して詳細に渉る報告書を作成されました。私が副委員長をしている都議会の委員会で詳細に内容を伺いましたところ、最も驚いた事は、地震発生時に素早く、数千人の奉仕活動の市民が集まり、市役所の指揮のもと様々な活動をされたとのことでした。勿論現地のボーイスカウトの関係者の方々が大活躍をされた事は想像できますが、ところでもし日本で、東京都で、いや葛飾区でこのような事態が発生した場合同じ様に奉仕活動が実施されるでしょうか、誠に心もとないものであります。私は、皆さまの日頃の奉仕の姿を、そしてそれを支えられる訓練の姿を拝見するにつけ、せめて我が郷土葛飾区の中でそれらの仕組みがあたりまえのものとなる日が来るよう努力を続けたいと思っております。そしてその私の夢は、きっと泉下で眼る故入江庄一先生の夢であったであろうと思います時、この事は葛飾オ2団の皆さまと力を合わせて実現を図りたいと心に刻むものであります。



お祝いのことば

ボーイスカウト東京連盟総武地区

協議会長 川野仁

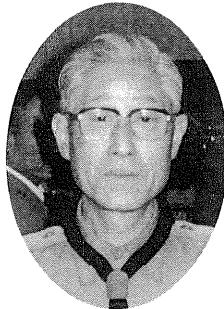
葛飾第2団の皆さん30周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

発団以来30年間、献心的に奉仕されこの様に永い歴史を積み上げられた諸先輩の方々、団委員長さんをはじめ、団委員、隊指導者の皆さんと物心面に亘りご支援を戴いてきました育成会員の方々に心からお礼申し上げます。一口に30年とは言いますものの5周年、10周年、15周年とそれぞれの節目を乗り越えられて迎えられたこの30周年は、皆さんにとりましては大変意義深いものと思います。この運動の歩は立ち止まると言う事はありません。常に前進され後に続く40周年、50周年を迎える事を祈って止みません。理解ある多くのご支援におこたえするには、一人でも多くの青少年をスカウティングを通じて、地域社会に役立つ人に育成する事にあると思います。

現在、ボーイスカウト運動は大変厳しい状況下に有り、スカウト人口の減少、指導者の養成等々、多くの問題を抱えております。しかし、大自然の中で集団生活を体験しながら自己研さんに努め、連帯感・責任感を養い、技能を身に付け多くの人の信頼を得て、地域社会に奉仕しようとするこの素晴らしいスカウト運動の根幹は変る事はありません。生前入江先生が「青少年の育成は良い指導者を育成する事にある」と私達によく申されました。この一言が総てを語りつくしている様に思えます。それが江戸川第7団のロバ一隊活動となり指導者作りへ力を注いだのです。

現代は富めるが為に心貧しい時代と言われます。21世紀に翔く多くの若者達をこの活動の中で育てて行く事がスカウト運動を続ける私達の役目かと思います。

この30周年を節目として団が一層の充実発展をされる事を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



次代に向って限りなき前進を

ボーイスカウト東京連盟理事総武地区

委員長 室 岡 登

ボーイスカウト葛飾第2団のみなさん、発団30周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

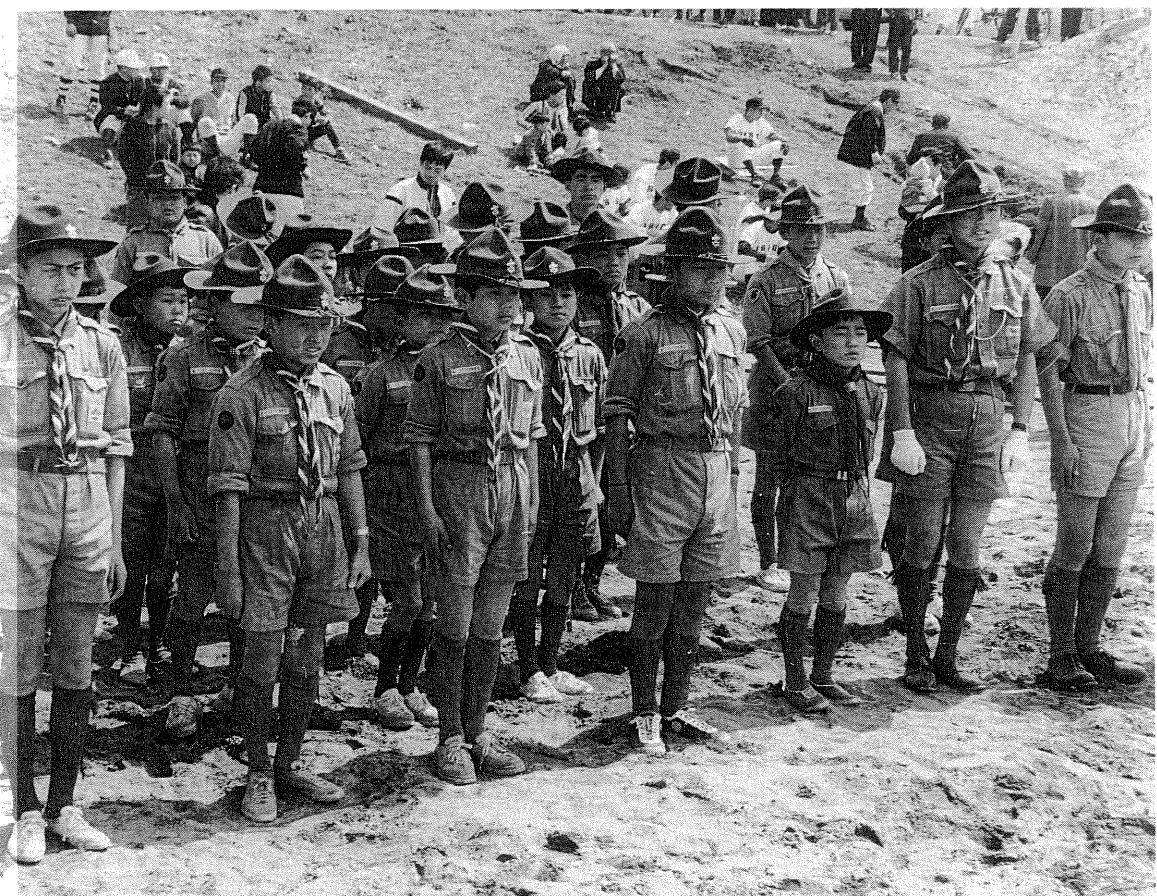
30年の道程は大変永く、又、多くの変遷もあったことだと思いますが、歴代の団委員長始め、スカウト・指導者のみなさん、育成会の方々のたゆまぬご尽力のお蔭で、このようすばらしい団として今日を迎える事ができたと思います。ご関係のみなさんにあらためて感謝と敬意を申し上げます。

ボーイスカウト運動も現社会情況の厳しさの中で、スカウト人口の減少をきたしております。地味なスカウト活動に魅力を失い始めたのか、比較的安易な活動に社会が移行しつつあるのか、スカウト人口に影響をきたしているのは現実であろうと思います。

総てが満ち足りた現社会にあって、青少年の心が歪められているように思われてなりません。よく「21世紀を担う青少年」と言われますが、新しい時代に向けての役割や責任を自覚し、明るく健康でたくましく成長することはボーイスカウトのみならず、社会のすべてが願っている事と思います。このような現況の中で、指導的立場にあるみなさん、更にご努力をいただき、ボーイスカウト活動が将来青少年にとって如何に大切であるかを多くの地域社会の方々に理解されるよう、一層のご奉仕をお願いいたします。

どうぞ葛飾第2団が次第に向って限りなく前進するために全力投球されることをお祈りいたします。

《思い出の30年》

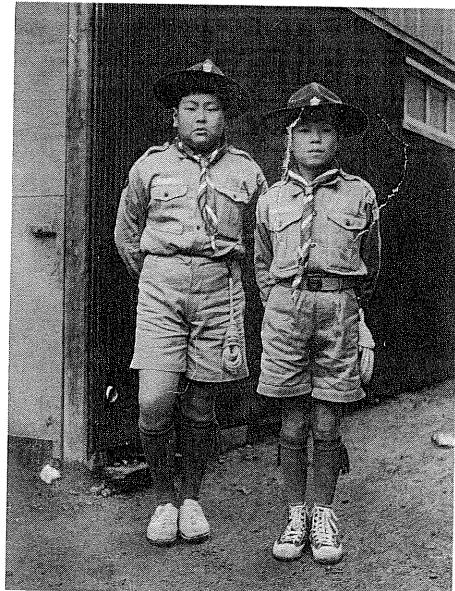
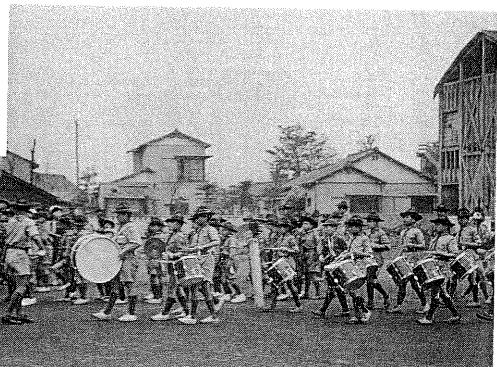


葛飾区軟式野球連盟に奉仕（37年3月）

昭和36年－昭和40年



◀発団当時のスカウト（現SS東平隊長 左）
パレードする（36.12）



▲発団当時のスカウト（現SS東平隊長 左）

おもなあゆみ

- | | | | |
|-------|--|-------|-------------------------|
| 36. 6 | 中央区の東京第54団の協力により四ッ木地区周辺の少年を中心にスカウト活動を開始する。 | 37. 8 | 第3回アジアヤンボリーに参加 静岡県御殿場 |
| 36.12 | 東京第186団BS隊加盟承認される。 | 38. 8 | 長瀬キャンプ場にてBS, CS合同夏季キャンプ |
| 36.12 | 発団記念行事 | 39. 8 | 御宿の海岸にてBS, CS合同夏季キャンプ |
| 37. 4 | CS隊発隊 | 39.10 | 東京オリンピック奉仕 |
| | | 40. 8 | 総武地区キャンボリー参加(CS舎管) |

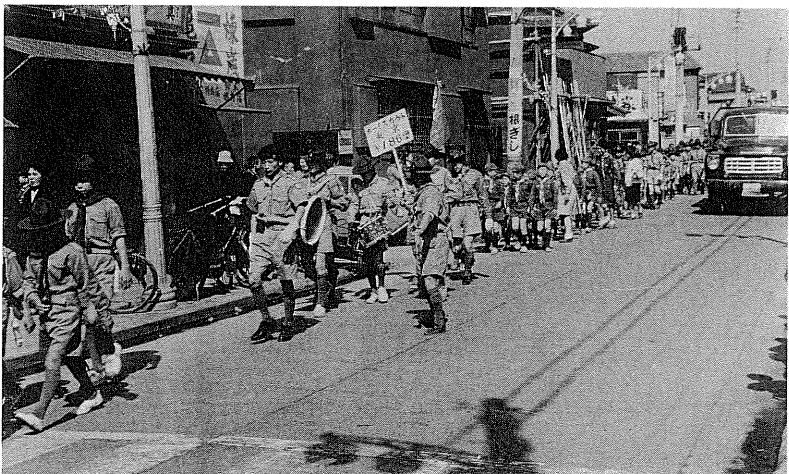
銚子君ヶ浜



▲御宿にて夏季キャンプ（39・8）



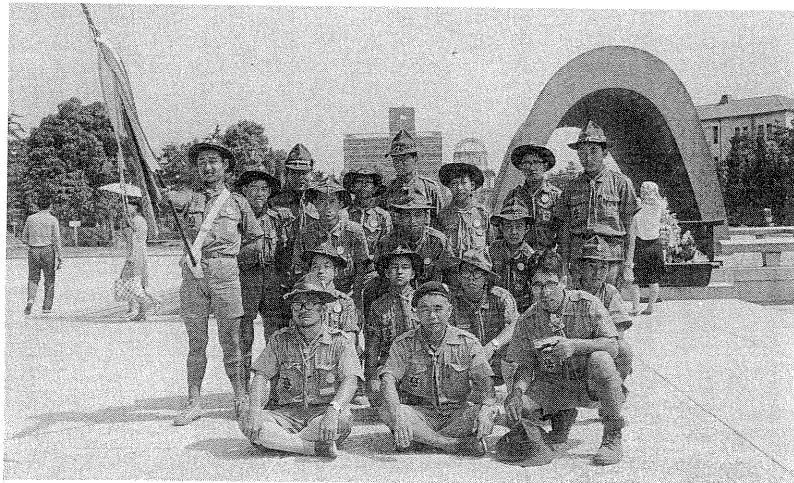
▲總武地区キャンポリーに参加
銚子君ヶ浜（40・8）



▲總武地区キャンポリー
銚子駅よりパレード（40・8）

昭和41年－昭和45年

▼第4回 日本ジャンボリーに参加後広島平和公園にて (41.8)



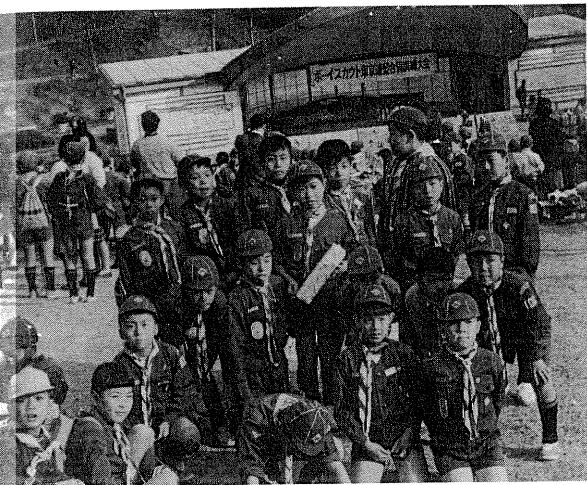
▼CS隊夏季キャンプ〈長野県 野沢温泉にて〉(43.8)



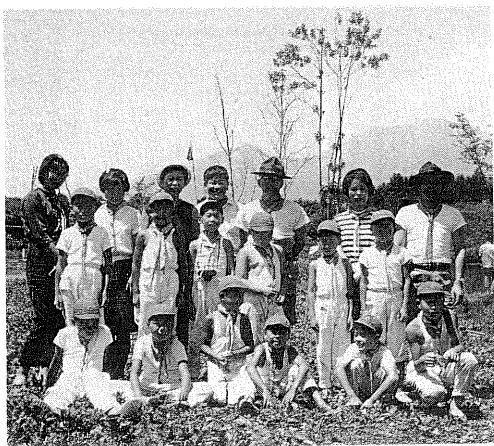
おもなあゆみ

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|---|
| 41. 7 | 白浜にてCS, BS合同キャンプ | 43. 8 | 葛飾小地区合同キャンプ 長野県 軽井沢 |
| 41. 8 | 第4回日本ジャンボリー参加 岡山県 日本原 | | CS隊長野県野沢温泉にて舍營 |
| 42. 4 | SS隊発隊 | 44. 8 | 長野県塩沢湖にてCS, BS合同夏季キャンプ |
| 42. 8 | BS隊那須にて | 45. 8 | 第5回日本ジャンボリー派遣 静岡県 朝霧高原
BS隊は本栖湖にて CS隊は河口湖にて夏季
キャンプ |

▼東京連盟合同訓練〈ユネスコ村〉(45.5)



▼夏季キャンプ〈長野県塩沢湖〉(44.8)



▲ C S 隊第5回日本ジャンボリー見学
（朝霧高原）(45・8)



昭和46年－昭和50年



◀団・大運動会（48・9）



▶BS隊炊事ハイク
（西丹沢）（48・11）



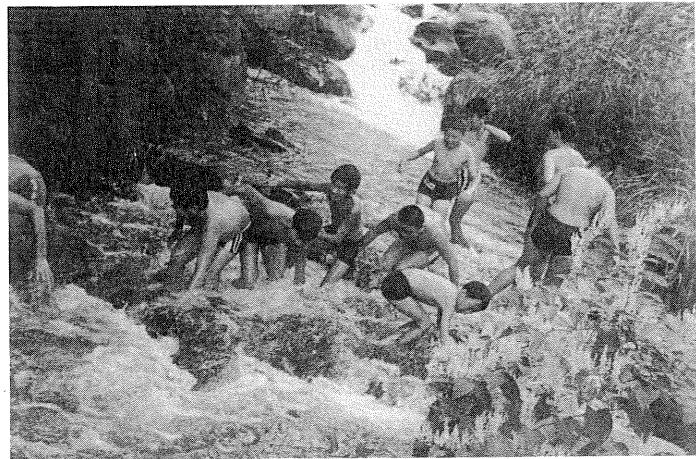
◀總武地区台灣に派遣

おもなあゆみ

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 46. 4 | 10周年記念行事 | 49. 8 | 第6回日本ジャンボリー派遣 北海道 千歳原 |
| 46. 8 | 第13回世界ジャンボリー派遣 静岡県 朝霧高原
BS, CS隊志川にて合同夏季キャンプ | 50. 1 | BS, CS隊富士見にて合同夏季キャンプ
竜王スキースクール 前後4回 北志賀 竜王 |
| 47. 8 | 養老渓谷にてCS, BS合同夏季キャンプ | 50. 6 | 15周年記念行事 |
| 48. 8 | 北茨城茜平青少年の家にてCS, BS夏季合同キャンプ | 50. 8 | 葛飾小地区キャンボリー 長野県 湯の丸
CS隊霧峰高原にて舍營 |
| 49. 3 | 第5回地区キャンボリー参加 千葉県 習志野 | | |



◀ 第5回地区キャンポリー
（習志野自衛隊キャンプ場）（49・3）



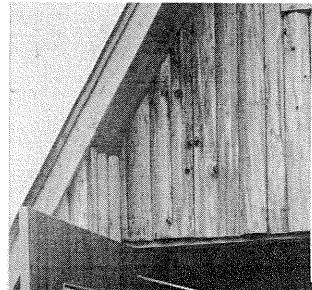
▲夏季キャンプ（長野県まほろば）（49.8）



▲スキーキャンプ（戸隠スキー場）（49.1）

昭和51年－昭和55年

▼BS隊春キャンプ〈奥多摩〉(51.3)



◀夏季キャンプ
〈筑波湯袋〉(51・8)

おもなあゆみ

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 51. 8 筑波湯袋にてCS, BS合同夏季キャンプ
シニアの森参加(東京連盟主催)青木ヶ原樹海 | 54. 8 甲子温泉にてCS, BS合同キャンプ |
| 52. 8 第6回地区キャンボリー参加 山中野営場 | 55. 8 東京キャンボリー参加 群馬県 相馬ヶ原
CS隊真原舎営 |
| 53. 8 第7回日本ジャンボリー派遣 静岡県御殿場
忍野にてCS, BS合同夏季キャンプ | 55. 9 20周年記念行事 |

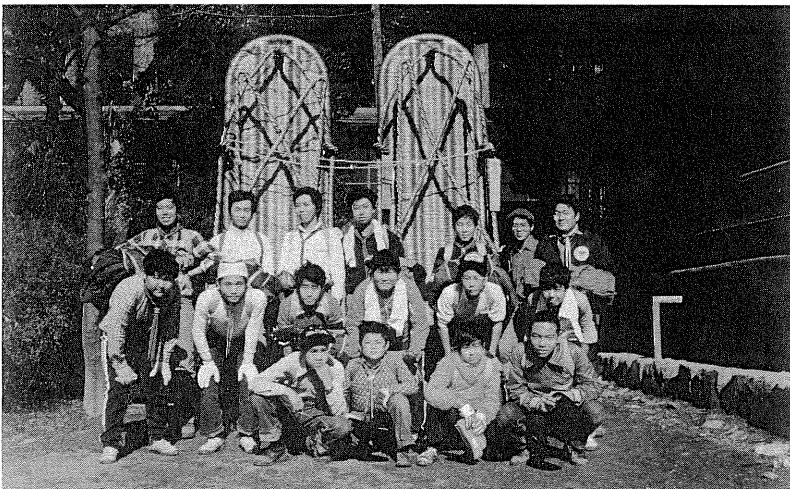
▼第6回地区キャンポリー

（山中野営場）（52・8）



▶B.S隊冬期登山 伊豆ヶ岳

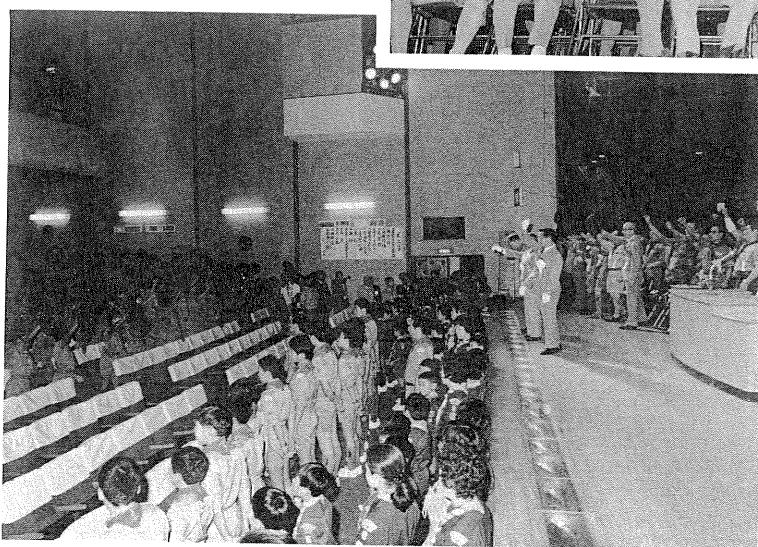
（54・2）



▲東京キャンポリー参加（群馬県相馬ヶ原）

発団20周年記念式典

昭和55年9月7日





▲入江団員長を先頭にパレード（西渋江小学校より）▲

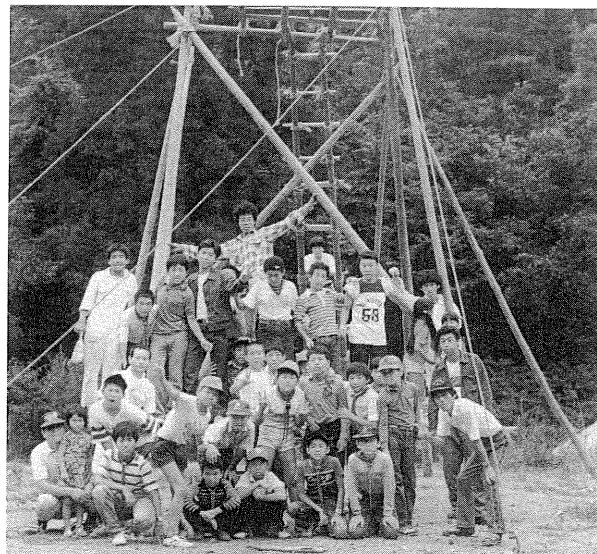


▲葛飾郵便局前にて

昭和56年－昭和60年



◀共同募金奉仕〈立石駅前〉(58・10)



▶夏季キャンプ〈筑波湯袋〉(56・8)

おもなあゆみ

- | | |
|---|---|
| 56. 8 筑波湯袋にてCS, BS合同キャンプ | 58. 8 群馬県神泉村 CS (廃校利用)
BS山林キャンプ SS長瀬移動キャンプ |
| 57. 8 道志川 CS, BS合同キャンプ
第8回日本ジャンボリー 宮城蔵王白石 | 59. 8 長野県白州(南アルプス山麓) CSバンガロー
BSキャンプ場 SSサバイバルキャンプ |
| 58. 1 現在团委員24名 リーダー20名 RS 6名
SS12名 BS31名 CS35名 | 59. 8 第1回シニアベンチャーキャンプ宮城蔵王白石
60. 8 茨城県筑波湯袋CS, BSキャンプ(筑波科学博覧会見学) |

▲白髭神社庭燎奉仕（59・12）



▶B S隊春キャンプ（御台場）（60・3）



▲S S隊スキーキャンプ（上越国際スキー場）（60・3）

昭和61年－平成2年



►ビバ一隊発隊
(61・4)

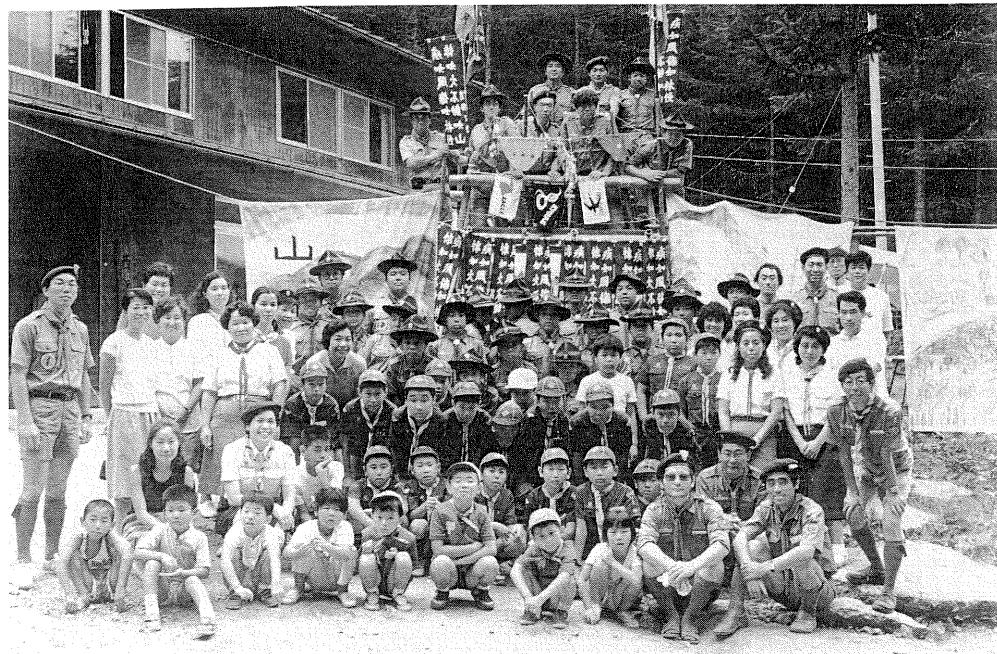


►富士スカウト誕生
発団記念集会にて発表
(63・11)

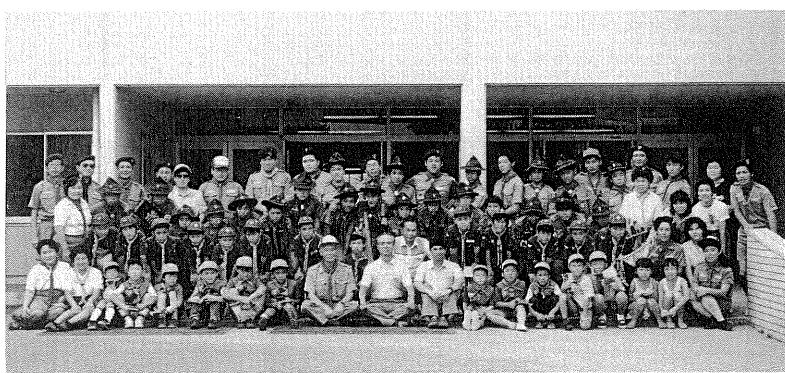
おもなあゆみ

- | | |
|--|--|
| 61. 4 ビバ一隊 発隊 | 63. 8 茨城県南那須青少年自然の家にてキャンプ
第2回シニアベンチャーキャンプ派遣 |
| 61. 8 第9回日本ジャンボリー派遣 宮城 蔵王白石
山梨県西沢渓谷BVS, CS, BS合同キャンプ
SS隊地区ワークキャンプ参加佐貫キャンプ場 | H1.8 地区35周年記念地区ジャンボリー 三宅島 |
| 62. 8 福島県矢祭町 BVS, CS, SSキャンプ
第1回大阪派遣 6名 SS隊 | H2.8 第10回日本ジャンボリー派遣 長野県妙高高原
H2.8 30周年記念キャンプ 群馬県鬼石 |

▼夏季キャンプ〈西沢渓谷〉(61.8)



▲夏季キャンプ
〈南那須〉(63・8)



►地区35周年記念キャンポリー
〈三宅島〉(H1・8)



楽しかった30周年記念キャンプ

C S 隊 若 林 瞳

C S 隊 鈴 木 英 樹

午前8時出発。キャンプの始まり。

荷営地の注意がきびしい。

ぼくが一番楽しかったのはキャンプファイヤー、川遊びと工作です。竹コップを作る工作はとてもむずかしく、竹を切りコップの型にする事です。あとは小刀で周りをけずり完成です。でも苦労した事が印象に残りました。川遊びはカニがいたり小魚がいてとても面白かった。特に三波石さがしが楽しかった。

でも特に楽しかったのはキャンプファイヤーで、インディアンのおどりが成功した事です。花火もやつたしバーべキューも食べたし、でももう今年はキャンプは終りでとてもさびしい、ずっとキャンプ場に居たかった。

賞品にもらった記念品は大事にしたい。

(くまスカウト)

夏のキャンプに参加するのは始めてで、行く前はとても不安でした。鬼石について色々なプログラムをやって見るととても面白くなつて來た。コンニャク作り、三波川での遊んだ事、竹コップ作り、そして一番楽しかったキャンプファイヤー。インディアンの姿をし、みのを作るのに時間がかかってしまった。絵具を顔につけ本当のインディアンのつもりになつた。

(うさぎスカウト)



C S 隊 畑 俊 孝

C S 隊 菅 野 芳 樹

ぼくはキャンプの中で夏キャンプは特にきらいでした。「行きたくないなあ」と云ったけど、参加してとても楽しいキャンプでした。楽しいことはたくさんあったけど、キャンプファイヤーでぼくはインディアンのかっこうをしたことです。ぼくはキャンプファイヤーの中で楽団がやりたかったけどおどりになってしまってとてもくやしかった。キャンプでシニアの人達が作ってくれた基地はとても良かった。三波川に行き川遊びをしたがつかれたけどとても水が冷たくて気持がよかったです。早くから夏のキャンプがすきになれば良かった。

(くまスカウト)

鬼石のキャンプは今までのキャンプ中一番楽しいキャンプでした。出発の朝ぼくはうきうきした気持で一杯でした。バスの中でのゲームや歌も鬼石について見るとこれからもっと楽しいキャンプが始まるなーと期待で一杯でした。ぼく達の基地を作り、そこで遊ぶのが楽しかったし、竹コップ作り、ボーイ隊への招待夕食会。ご飯がとてもおいしかった。キャンプファイヤーで歌を歌いとても楽しいキャンプでした。

(くまスカウト)

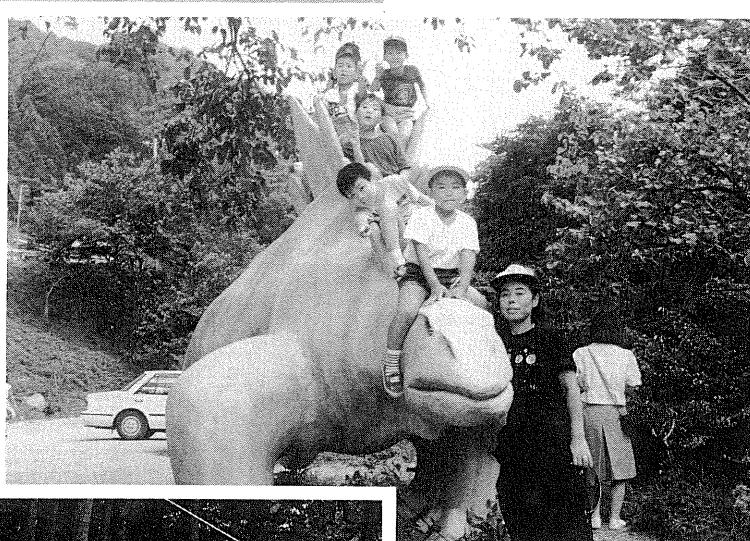


30周年記念キャンプ（群馬県鬼石にて）

平成2年8月13日～16日



▲鬼石に全員集合



▲いつも可愛いビーバー隊



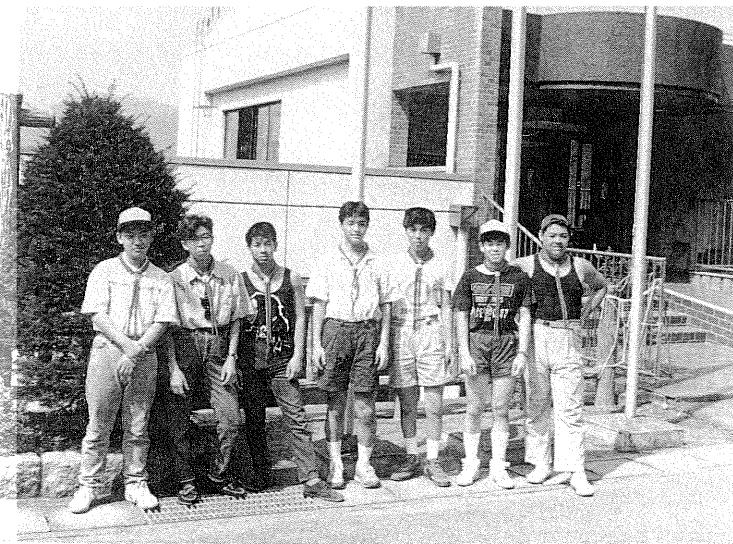
▲カブ隊は自分達の基地を作りました



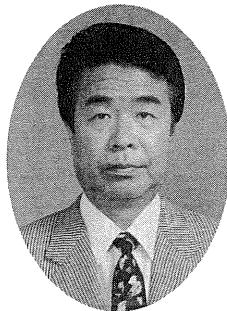
◀ 楽しく三波川へハイクボーキ隊



► リーダーも楽しそう



◀ いつもたくましいシニア一隊
移動キャンプもなんのその



発団30周年を迎えて

葛飾第2団発団30周年記念事業実行委員会

実行委員長 早川功

ボイスカウト葛飾第2団30周年記念行事に御参加賜り、誠に有難うございました。

由緒ある葛飾第2団の記念事業実行委員長を拝命して、身に余る光栄と存じます。お蔭様をもちまして素晴らしい御来賓の皆様、又友団の皆様に支えられて育成会長、団委員、リーダーの皆様の御指導により大役をまとうする事が出来ました事は感謝の至りでございます。

発団30周年行事バザーに対して御協力を賜り、特別育成会員の皆様には格段なる御援助を頂き厚くお礼申し上げます。

流動限りなき世相にありまして、清く正しく青少年を守り導く為に今後とも御協力を賜り、私も皆様と御一緒に次期世代を担うボーイの皆様の躍進を祈り、内外関係者並びに諸先生方の御協力をお願いしその為には全力を投じる所存です。

今後共、御支援、御鞭撻の程お願い致します。

末筆ながら皆様の御健勝を心よりお祈りし、御礼の言葉と致します。

本日は有難うございました。

30周年を迎えて

ボーイスカウト 葛飾2団

副団委員長 入江生夫

登団30周年を迎える事が出来ましたことを感謝申し上げます。

葛飾第2団（当時 東京第186団）発団当時より在籍でき団の歴史と共に歩んで参りました。スカウトとして入団し、指導者、団委員、副団委員長といろいろな事を体験させて頂き、楽しい事だけでなく、辛い事、苦しい事を乗り越えた喜びが忘れられません。

スカウト時代には、日本ジャンボリー、東京オリンピック奉仕、万国博覧会、等に参加して、楽しい体験をする事が出来ました。又、指導者として、北海道千歳原ジャンボリー、総武地区派遣台湾陽明山キャンプ、地区キャンボリー等に参加研修出来、地区役員に奉仕させて頂き、いろいろ勉強になりました。特に、昭和天皇在位60年記念式典に参列させて頂いた上に、皇居に於いてのお茶会にお招きを受けました事と、大葬の礼に参列させて頂きました事は、私にとりまして忘れる事のできない思い出です。

又、この活動を通して、沢山の友人を得ることができました。これもボーイスカウトを続けられた事と、地区役員及び団の皆様のあたたかいご指導のお蔭であります事を心より感謝致します。

今後は、私が経験した事を活かし、育成会・団委員・指導者共に一体となって、スカウト育成の為に、一生懸命に努力致してまいります。又、新しい指導者を養成する為に、総武地区ローバー隊（江戸川第7団）に、スカウトをお願いしております、お蔭様で指導者として活躍しています事を感謝申し上げます。

これからも40年、50年が迎えられますよう皆様方の益々のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして御礼の言葉とさせて頂きます。

五周年を迎えて

ビーバー隊

隊長 遠藤 弥栄子

ビーバー隊が発隊して5年になります。当時はスカウト3名で活動を行って参りました。そのスカウト達も今ではカブスカウト、ボーイスカウトへと上進して、後輩への良い目標となってくれています。その後も毎年6~7名のスカウト達がカブスカウトへと上進してゆき頑張っております。1年生で入隊してカブスカウトへ上進までの2年間、スカウト達は大変成長してすっかりお兄さんらしくなります。嬉しさもありますが、ちょっぴり淋しく思う時もありました。

ハイキング、マラソン大会、ゲーム、工作、そして夏のキャンプでの魚つかみ、山歩き、こんにゃく作り等々、本当にたのしそうな顔をしています。いろいろな事をたくさん覚えて、よい仲間とカブ・ボーイ・シニア・ローバーへと進んでもらいたいと願っております。

最後になりましたが、ビーバー隊が5周年を迎えられましたのも皆様方のご協力がありました事と感謝しております。これからも10周年、15周年と歩んでゆきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

発団30周年に当って

カブスカウト隊

隊長 鯉渕 武治

発団30周年。大変長い期間スカウト活動を続けて来た期間であり、育成会及び団役員の努力に敬意を表したい。

『ひょっこりひょうたん島』『ちびまる子』これがこの30年の期間で沢山の子供達にてもはやされたテレビ劇である。この2つの違いは一方は非常に沢山のキャストが出演し、他方は一人の出演者で劇が構成されている。この30年で平均的な人間を育成する時代から、特技や何か他の人と異なる能力を備えた人が必要になって来ると思う。30周年を迎えた各隊も、充分新しい方向に向ってプログラムを立案しています。カブ隊は本年より導入された新制度を取り入れ、他の人と違う能力開発のお役に立てる様努力しています。

新制度の『チャレンジ章』こそ能力開発の鍵です。どんどんチャレンジしましょう!!

発団30周年を迎えて

ボーイスカウト隊

隊長 工藤 弥一

私が入隊したのは今から21年前の小学校4年生の時で、初めて参加した行事が発団記念集会でした。当時の団名は、東京第186団と言いました。その翌年に発団10周年記念行事が催され、当時、月の輪だった私たちは、少し早くボーイ隊に上進しボーイの制服を着て参加したことを今でも覚えています。

早いものであれから21年、私の青春の1ページに刻み込まれたスカウト活動の中で特に印象に残っているものが三つあります。一つは、雄大な北海道の地で開催された第5回日本ジャンボリーの参加です。二つ目は、シニア時代に参加したシニアの森です。あの富士山麓の青木ヶ原の樹海を横断し目標にぴったりと出られた事は、青春時代の良い思い出になりました。三つ目は、華のB・S隊の隊長を務めたことです。自分の描いていた隊作りやスカウト育成ができ、当時の先輩、私のスタッフに感謝しています。そして、この時のスカウトの何人かは現在もローバースカウトやリーダーとして頑張っており大変嬉しく思います。

先日、我が家にも男児が誕生しました。以前から男の子が生まれたら「ボーイスカウトに」と思っておりましたので、早く大きくならないかと日々思っています。そして、発団40周年記念には「親子揃って参加できたらいいな」と今から楽しみしております。

今年は日本連盟も、大正11年発足以来初めて制服を一新します。葛飾2団も30周年を迎えるという記念すべき年になりました。現在スカウト達は学校、塾、そしてスカウト活動と大変だと思います。この様な時代ですから特にスカウト達には、学校や塾では教わらない事を体験させ、将来「より良い社会人」となるよう、初心を忘れずに努力していきたいと思います。

発団30周年を迎えて

シニアースカウト隊

隊長 東 平 進

私が小学校6年生の頃、テレビがやっと家庭に普及はじめた時代で、一般にはまだラジオが中心であったと思います。そんなわけですから、子供の遊びは屋外で暗くなるまで、鬼ごっこ・缶けり・めんこ・ビー玉・野球・相撲などをやっていました。そんなときボーイスカウトの入団の誘いがありました。今なら中学受験を目の前にしてと思う、昭和36年10月末でした。“皆でゲームをやろう”と言うのがキャッチフレーズで、今は型を変えてしまった四つ木白鬚神社の山公園での集会に参加したのが最初でした。そのときリーダーからリング・ゲーム・ロープワークを教えてもらい、「これは面白い」と思った感じは今も残っています。そしてまだ組織も理解していない11月に進級面接（地区審査－明昭幼稚園－）を受け12月に東京186団少年隊（現ボーイ隊）として発団し、発団記念の武典・パレードを行ないました。そのときNHKが取材にきて、夜のテレビニュースをかじりついで見たことも覚えています。発団当時は隊員もドンドン増え、昭和37年年少隊）の発隊時にはボーイ隊は第1第2隊に分かれたほどでした。その年、私にとって忘れることの出来ない第3回日本ジャンボリー（アジアジャンボリー）に参加しました。この大会で何をやったかというより、水の大切さと重さを覚えました。その9月に東京第115団（現葛飾第4団）が分封しました。その後昭和53年度より東京第186団は葛飾第2団に名称を改めました。

発団当時の育成会長 故 石毛慶次郎氏、2代目 故 東 平孝徳氏、初代団委員長で現在も副育成会長としてご活躍いただいてます三森定雄氏、2代目 故 田中幸作氏、3代目 故 入江庄一氏、又副団委員長 故 大友静雄氏他、多くの方々がこの団を育てて下さったご尽力に対し、改めて深く感謝を致したいと思います。

私たち現団委員、指導者も先輩の作られたこの組織を今後とも努力し発展させて行く所存でございます。

ボーイ隊長の頃

シニアースカウト隊

副 長 加 藤 浩

私は、昭和63年と平成元年の2年間ボーイスカウト隊の隊長を務めました。

30年という当団の長い歴史の中ではほんの一瞬の事でしょうが、私にとっては、とても長く、私の人生において意義のある発見が数多くありました。その一つの発見として、今の子供達は、競争よりも協調をもとめているという事です。

昭和63年の5月に葛飾4団・9団・江東1団の友団といっしょに合同グリンバーキャンプを千葉県船橋県民の森で行いました。我々各団隊長は、日頃親しみのない他団と競わせる事でそれぞれの技術を向上させようと考えていました。プログラムはキャンプ生活のすべての動作をゲーム化し、それぞれ個人・班単位で評価し競わせるといったものでした。結果としては、それなりに意義のある楽しいキャンプとなったのですが、彼等は何が楽しかったのでしょうか？

私が少年の頃は、俗に言う“スポ根”スポーツ根性の時代で、人よりも努力し競争して勝つ事が最大の喜びでした。同じようなキャンポリーや合同野営があると、他団のスカウトを敵あるいはライバルと見て、やれうちのテントサイトの方がりっぱだとか、飯が早くできたとかで喜んでいました。今の子供はどうですか、彼等の表彰台の笑顔よりも勝ち負け関係なしに他団のスカウトと話しているその顔こそが、一番楽しんでいる顔でした。

キャンプ中のゲームの一つに、県民の森に遊びに来ている一般の人に歌を歌って聞かせてサインをもらい、できるだけ多くの人にそのサインをもらうといったものがありました。我々リーダーの予想では、一部のスカウトを除いて、きっとはずかしがって誰もサインをもらって来ないんじゃないかと思っていたのです。ところがどうでしょう。そのサインの多いこと、彼等には他人と親しくするのに何んの抵抗もないみたいです。今の世相はどうでしょうか。相変わらず受験地獄や社会競争のサバイバルゲームがクローズアップされていますが、現実を見ると、学校や塾やクラブ活動で目標の為に人と競ったり、争そったりする姿は見られず、もっとなごやかな気がします。（もっとも、それ以外のいじめや暴力の問題はあります）彼等は、勝ち負けで物の優劣をつける限界と、大勢の人とコミュニケーションを取ることの大切さを自然と身につけているみたいです。それは、競争すべてを得ようとしていた我々の反省であるかのように…。グリンバーキャンプの帰りの際のあの真に打ちとけ合ったスカウトの顔、他団のスカウトと交流を持てた喜び、この事から私の指導方針も少しずつ変化してきました。競争させるよりも、目標に対し全員で協力できるように、その集団形成とも言えるべく平成元年の総武キャンポリーは予想以上の大成果を収めました。協力し合ってキャンプサイトを作り、プログラムをこなし、食事をとって……、リーダーもスカウトも本当に全力をつくしたという感じでした。

これからも時代と共に、世相やリーダーの個性、スカウトの総体的な指向によって、葛飾第2団のカラーは変化して行くと思いますが、私の頃のボーイスカウト隊は、“愛あるスカウト”そんな言葉が似合う気がします。

葛飾第2団歴代育成会会長

石毛 慶次郎	昭和36年～昭和38年
東平 孝徳	昭和39年～昭和51年
福田 獣	昭和52年～昭和58年
大竹 将喜	昭和59年～昭和62年
川島 一伸	昭和63年～

葛飾第2団歴代団委員長

三森 定雄	昭和36年～昭和37年
田中 幸作	昭和38年～昭和43年
入江 庄一	昭和44年～昭和56年
佐野 英雄	昭和57年～昭和58年
渡辺 良男	昭和59年～昭和62年
佐野 英雄	昭和63年～

葛飾第2団歴代隊長名簿

役歴 年代	ビーバー隊隊長	カブ隊隊長	ボーイ隊隊長	シニア隊隊長
S 36			深澤利雄	
37		福地集	武井信一・三森実雄	
38		田中幸作	河村啓介	
39		福地集	"	
40		大友静雄	平馬勇	
41		平馬勇	渡辺辰治	(班)田中幸作
42		"	"	(隊)"
43		"	"	"
44		"	田中幸作	大友静雄
45		"	三森勝広	田中幸作
46		"	"	"
47		入江生夫	"	田辺博雄
48		"	"	"
49		"	東平進	三森勝広
50		"	"	"
51		"	伊藤章	"
52		"	"	田辺博雄
53	鯉渕武治	東平進	入江生夫	
54	"	吉田雅毅	"	
55	"	"	"	
56	"	"	中島繁	
57	海老沼功	上松孝尚	"	
58	"	"	"	
59	"	工藤弥一	"	
60	入江生夫	"	東平進	
61	鯉渕武治	岩本道弘	中島繁	
62	入江生夫	"	"	東平進
63	工藤弥一	"	加藤浩	"
H 1	遠藤弥栄子	"	"	"
2	"	"	工藤弥一	"

スカウト進歩歴抜萃

■ 菊スカウト

昭和53年	岩崎 彰茂	・ 山崎 浩良	・ 山田 昭
昭和54年	渡辺 俊也		
昭和56年	高杉 正徳		
昭和60年	岩本 有司	・ 有馬 嘉伸	・ 細川 一
昭和61年	近藤 一浩	・ 白井 伸正	・ 小室 需庸
昭和62年	山田 和彦		
昭和63年	菅野 誠		
平成1年	宮澤 和弘	・ 白井 功	・ 山田 耕司
平成2年	岩本 英司		
平成2年	田上 浩康		

■ 隼スカウト

昭和58年	渡辺 俊也
昭和59年	高杉 正徳
昭和60年	金子 邦彦
昭和61年	・ 井上 英昭
昭和62年	・ 佐藤 明弘
昭和63年	田中 康義
昭和64年	岩本 有司
昭和65年	・ 細川 一
昭和66年	白井 伸正

平成1年

■ 富士スカウト

昭和63年	岩本 有司
平成4年	菅野 康之
平成6年	田上 浩康
平成7年	浦川 敏和
平成8年	菅野 芳樹
	桂山 大介

2 岩本英司、菅野康之、高内乾
3 宮澤 和弘
4 田上浩康、安井、川島、
浦川敏和
5 菅野 芳樹
7 関本 伸昭、桂山大介

発団30周年在籍団名簿

平成2年9月現在





継続登録承認書

平成2年4月1日

財団法人ボーイスカウト日本連盟

葛節第2団 (登録第1845号)

所属隊 ピーパースカウト隊(登録第 262 号)
カブスカウト隊(登録第 445 号)
ボーイスカウト隊(登録第 3444 号)
シニアースカウト隊(登録第 932 号)
_____隊(登録第 _____ 号)
_____隊(登録第 _____ 号)

本連盟は、平成2年4月1日付で貴団の継続登録を承認し、その団号および団ならびに所属各隊の登録番号を、登録原簿に登載しました。

貴団に所属するすべての指導者とスカウトが、本連盟の目的、基本方針および諸規定を守り、ボーイスカウトの精神に基づき、その名誉を堅持することを期待します。

財団法人

ボーイスカウト日本連盟

総長

渡邊



編 集 後 記

昭和36年東京第186団として発団致しましてから、30年を迎える事が出来ました。これも一重に友団、関係各位並びに、地域の多くの皆様のご協力のたまものと、心より御礼申し上げます。

30周年記念誌発行の任を受け、私達編集スタッフ一同、一番大変だったのは資料の整理でした。ページ数は限りがあり当団の歩んだ30年の、ほんの一部しか掲載する事が、出来なかった事をお詫び申し上げます。

編集作業中懐かしい資料、写真等を見るにつけ時の流れの早さと、多様化していく世の中で、子供達にとってボイスカウト活動が、いかに必要で大切か改めて感じさせられました。

30周年を、新たな一步と致しまして、団委員、指導者共に、スカウト活動を通じ青少年育成のために、一層の努力を致して行く所存でございます。

どうぞ尚、一層のご支援とご協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。

葛飾第2団 記念誌編集委員会

編集委員長 浦川 隆

スタッフ 一 同

発行人／ボイスカウト葛飾第2団

発団30周年記念行事実行委員会

委員長 早川 功

編 集／記念誌編集委員会

委員長 浦川 隆

印 刷／(株)高橋印刷所

発 行／平成2年10月14日